

### **Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要**

### Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

#### 概 説

本調査結果については、過去2回（平成12年度、平成17年度）にわたって実施した調査結果と比較、検討を行った。各調査内容別にみた本調査結果の概要は以下のとおりである。

#### 1) 歯科健康診査による調査結果

##### (1) 20歯以上の歯を有する者

20歯以上の歯を有する者の割合は、40歳から54歳までは徐々に減少しているが55歳以上で急激に減少している。過去調査に比べると、60歳以上においては顕著に増加を示している。80歳以上では30.8%で前回調査に比べて11.4%増加している。

##### (2) 歯の状況

###### ・現在歯の数

20歳代から50歳代までは徐々に少なくなり、60歳代以上で急激に少なくなっている。過去調査に比べ30歳代・50歳代はほぼ横ばい、20歳代・40歳代ではやや増加傾向、60歳代以上では顕著な増加を示している。一人平均現在歯数の全体平均は24.8本で前回調査より0.3本増加している。今回調査では70歳代より20本を下回っている。80歳以上では前回調査より3.3本増加し、12.3本である。

###### ・健全歯の状況

健全歯数は20歳代から80歳以上まで年齢とともに徐々に少なくなっている。過去調査に比べ50歳代では減少が認められるが、その他の年代では増加傾向にある。性別ではすべての年代で男性の方が多い。

###### ・むし歯の状況

むし歯に罹っている者の割合は、50歳代まで徐々に増加し、60歳代以上で急激に減少している。過去調査に比べると20歳代、30歳代において減少傾向にあるが40歳代より増加傾向である。特に70歳代以上で顕著で80歳以上では、80.8%で前回調査より11.4ポイント高い率を示している。

###### ・未処置歯の状況

未処置歯を有する者の割合は、20歳代から80歳以上まで年齢とともに徐々に少なくなっている。前回調査に比べ60歳代を除くすべての年代で、減少している。若い年代ほど顕著である。未処置歯数は、前回調査に比べて、男性は60歳代、70歳代を除くすべての年代で増加しており、女性は60歳代、80歳代を除くすべての年代で減少している。また、未処置歯数はすべての年代において男性の方が女性より多い。

###### ・処置歯の状況

一人平均処置歯数は20歳代から50歳代まで徐々に増加し、60歳代以上で徐々に減少している。過去調査に比べて20歳代、30歳代で減少傾向にあり、40歳代より増加傾向にある。性別では、一人平均処置歯数は80歳以上を除くすべての年代において、女性の方が多い。

###### ・喪失歯の状況

喪失歯のある者の割合は、20歳代5.6%、30歳代14.3%と少ないが、40歳代から急激に増加して80歳以上では95.8%となる。過去調査に比べてすべての年代において減少傾向にある。特に20歳代から40歳代では顕著である。一人平均喪失歯数は、40歳代までは1.0本以下だが、50歳代で3.0本以上になり急激に増加している。性別では、すべての年代において男性より女性の方が喪失歯は多い傾向があり、特に70歳代以上でその差が顕著になっている。

##### (3) 補綴の状況

補綴が必要とされる者は全体の51.5%である。補綴を完了している者は全体の33.1%であり、前回調査に比べて2.9ポイント増加している。また、補綴が必要な者のうち補綴完了者は64.3%であり、過去調査に比べて増加傾向である。

##### (4) 歯周病の状況

歯周炎に罹っている者の割合は、20歳代、30歳代で少なく、40歳代以上で多くなり60歳代、70歳代で最大を示し80歳以上で少なくなる。過去調査に比べ20歳代、30歳代は減少傾向であるが、過去調査で減少傾向にあった40歳代から60歳代を含めて40歳代以上の年代で増加している。

## 1 被調査者の状況

(単位：人)

			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
1	地 区	男 性	1	10	21	26	29	66	48	7	208
		女 性	4	48	151	57	60	91	84	40	535
		計	5	58	172	83	89	157	132	47	743
2	事 業 所	男 性	2	36	54	45	54	12	2	0	205
		女 性	1	58	72	61	46	11	1	0	250
		計	3	94	126	106	100	23	3	0	455
3	そ の 他	男 性	2	70	76	91	118	116	106	32	611
		女 性	4	150	137	151	155	155	122	41	915
		計	6	220	213	242	273	271	228	73	1,526
合 計	男 性	5	116	151	162	201	194	156	39	1,024	
	女 性	9	256	360	269	261	257	207	81	1,700	
	計	14	372	511	431	462	451	363	120	2,724	

(単位：人)

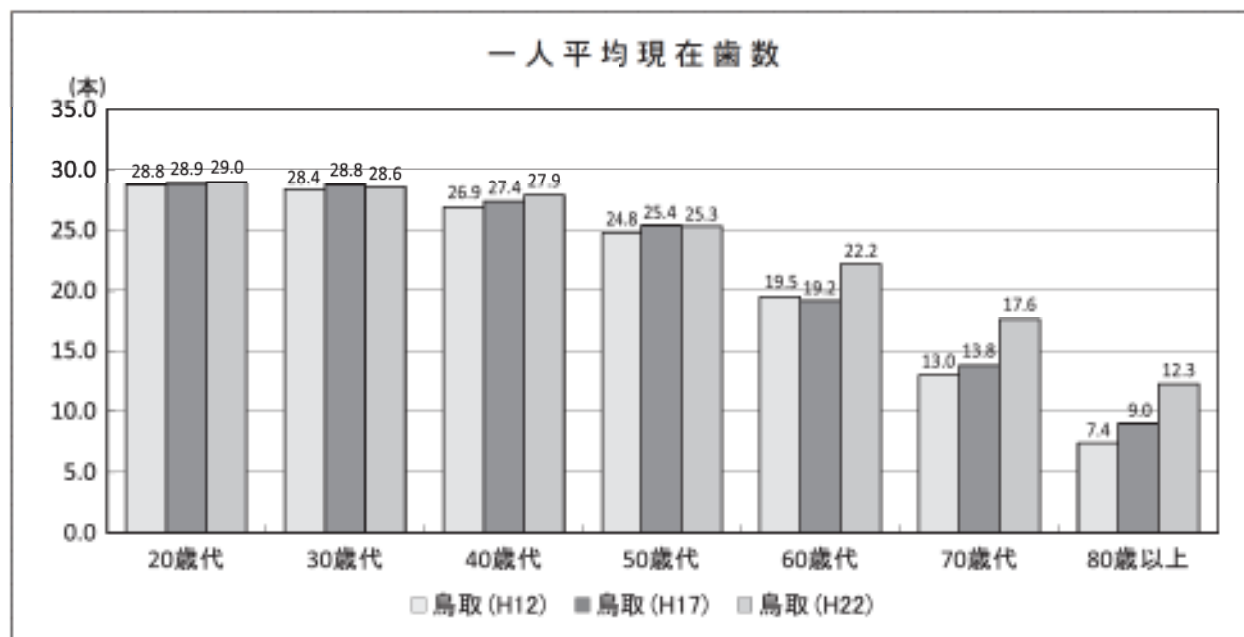
			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
平成7年度実績	男 性	7	111	222	282	231	160	66	25	1,104	
	女 性	21	243	285	249	241	215	144	58	1,456	
	計	28	354	507	531	472	375	210	83	2,560	
平成12年度実績	男 性	15	166	162	246	250	163	156	32	1,190	
	女 性	19	283	277	181	195	257	188	51	1,451	
	計	34	449	439	427	445	420	344	83	2,641	
平成17年度実績	男 性	23	249	322	338	241	130	131	55	1,489	
	女 性	24	267	198	223	166	132	173	79	1,262	
	計	47	516	520	561	407	262	304	134	2,751	
平成22年度実績	男 性	5	116	151	162	201	194	156	39	1,024	
	女 性	9	256	360	269	261	257	207	81	1,700	
	計	14	372	511	431	462	451	363	120	2,724	

## 2 歯科健診による調査事項

### (1) 現在歯の状況

20歳代から50歳代までは徐々に少なくなり60歳代以上で急激に少なくなっている。過去調査に比べ30歳代・50歳代はほぼ横ばい、20歳代・40歳代ではやや増加傾向、60歳代以上では顕著な増加を示している。一人平均現在歯数の平均は24.8本で前回調査より0.3本増加している。今回調査では70歳代より20本を下回っている。80歳以上では前回調査より3.3本増加し、12.3本である。

○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

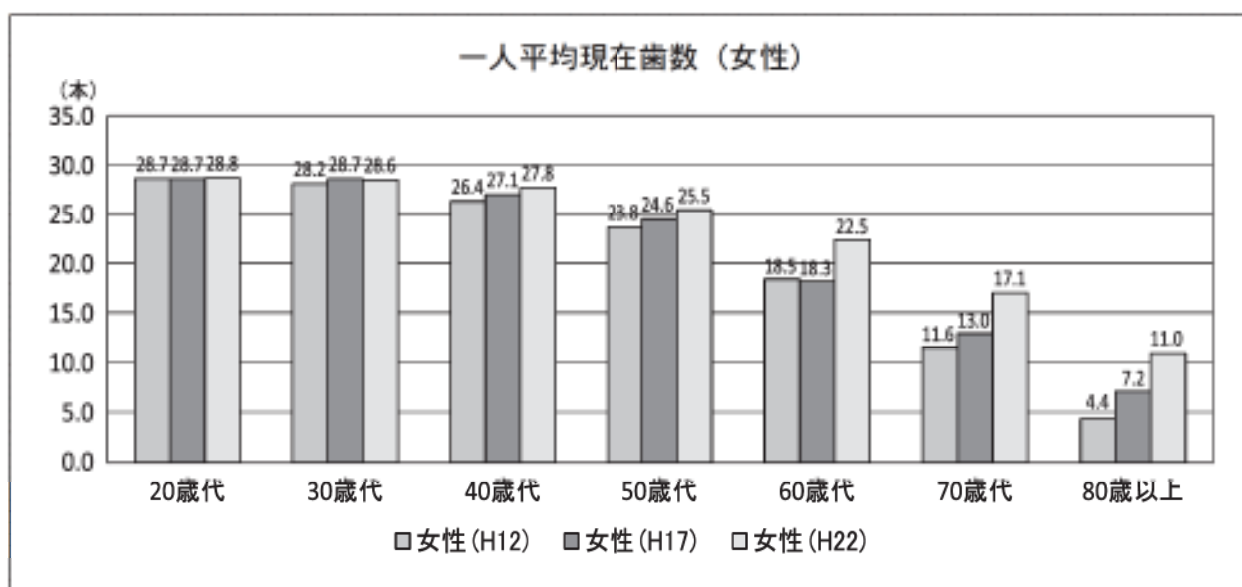
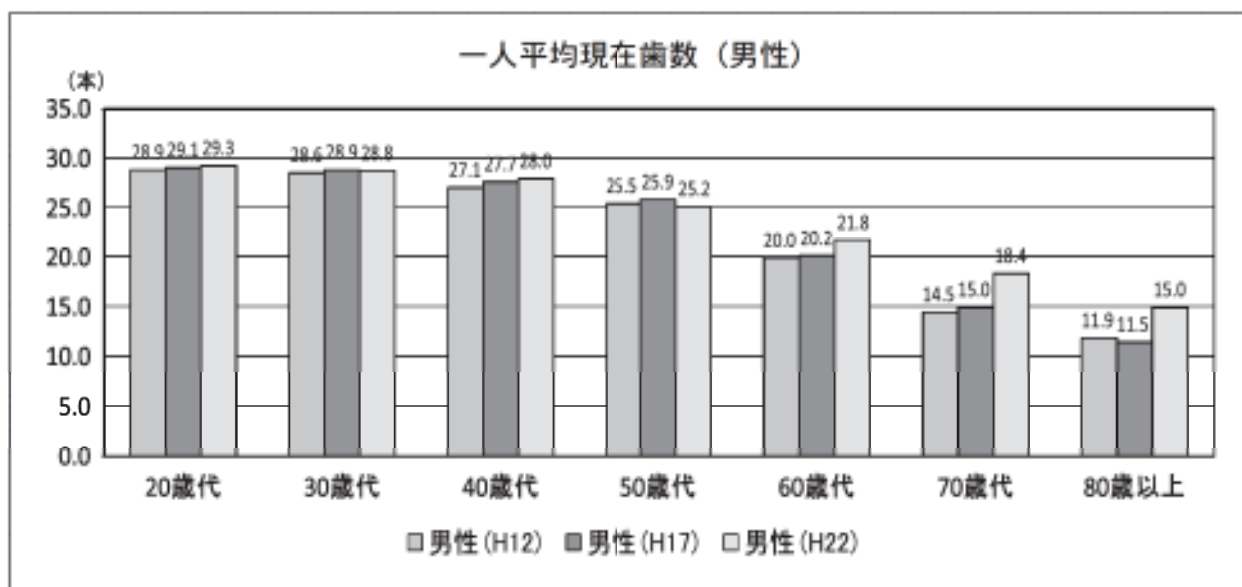


(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	28.8	28.4	26.9	24.8	19.5	13.0	7.4
鳥取 (H17)	28.9	28.8	27.4	25.4	19.2	13.8	9.0
鳥取 (H22)	29.0	28.6	27.9	25.3	22.2	17.6	12.3
全国 (H17)	29.0	28.2	26.9	24.2	19.8	12.9	7.5

### ○性別での比較

60歳代までは大きな差は認められないが、70歳代以上では、男性よりも女性の方が現在歯数が少なく、80歳以上では4.0本の差がある。



一人平均現在歯数（性別）

（単位：本）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H12)	28.9	28.6	27.1	25.5	20.0	14.5	11.9
男性(H17)	29.1	28.9	27.7	25.9	20.2	15.0	11.5
男性(H22)	29.3	28.8	28.0	25.2	21.8	18.4	15.0
女性(H12)	28.7	28.2	26.4	23.8	18.5	11.6	4.4
女性(H17)	28.7	28.7	27.1	24.6	18.3	13.0	7.2
女性(H22)	28.8	28.6	27.8	25.5	22.5	17.1	11.0

(2) 歯別のDMF歯率

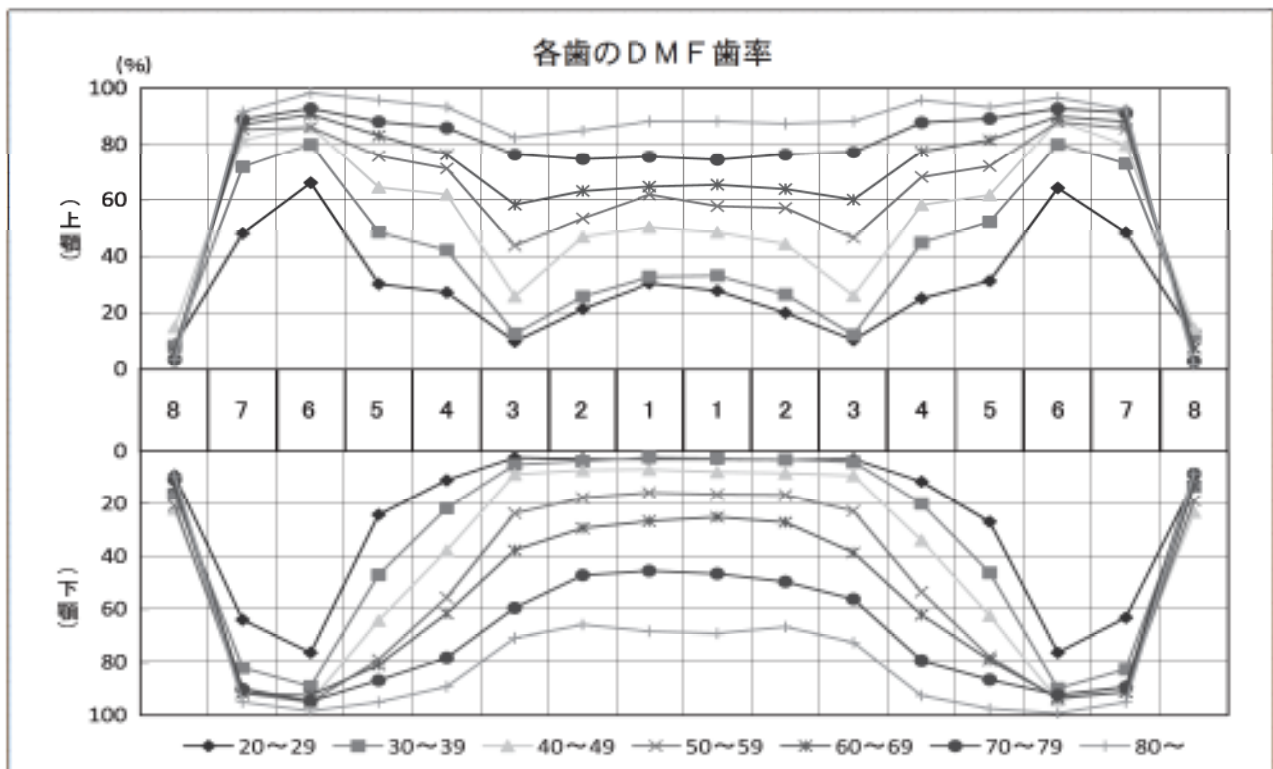
全ての年代において、上下顎とも臼歯部（特に大臼歯部）のDMF歯率が高く、罹患されていることが多いことを示している。

(単位：%)

		上 顎															
年代	被調査者数	右 側								左 側							
		18	17	16	15	14	13	12	11	21	22	23	24	25	26	27	28
～19	14	0.0	21.4	50.0	14.3	7.1	0.0	7.1	21.4	14.3	7.1	0.0	14.3	7.1	50.0	21.4	7.1
20～29	372	8.6	48.1	66.1	30.1	27.2	9.7	21.2	30.4	27.7	19.9	10.2	25.0	31.2	64.2	48.4	11.3
30～39	511	8.2	71.8	80.0	48.5	42.1	12.5	25.6	32.7	33.1	26.4	12.1	44.8	52.3	80.0	73.0	11.9
40～49	431	14.8	81.7	86.3	64.5	61.9	25.8	46.9	50.3	48.5	44.3	26.0	58.2	61.7	88.4	79.8	14.4
50～59	462	7.4	85.3	86.1	75.8	71.2	43.7	53.5	61.9	57.8	57.1	46.5	68.2	72.1	88.1	85.7	7.1
60～69	451	6.0	87.1	90.7	83.1	76.3	58.3	63.2	64.7	65.4	63.9	60.1	77.4	81.6	90.0	88.2	7.5
70～79	363	3.3	89.0	92.8	88.2	86.0	76.3	74.7	75.5	74.4	76.3	77.1	87.9	89.3	92.8	91.5	2.8
80～	120	3.3	91.7	98.3	95.8	93.3	82.5	85.0	88.3	88.3	87.5	88.3	95.8	93.3	96.7	92.5	1.7
総数	2,724	7.9	77.9	84.3	66.1	61.7	38.6	48.4	53.5	52.2	49.0	39.8	61.4	65.6	84.5	78.5	9.0

		下 顎															
年代	被調査者数	右 側								左 側							
		48	47	46	45	44	43	42	41	31	32	33	34	35	36	37	38
～19	14	0.0	21.4	64.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	35.7	0.0
20～29	372	9.1	64.0	76.3	24.2	11.0	2.4	3.0	3.0	3.0	3.2	3.0	11.6	26.9	76.3	63.2	11.8
30～39	511	16.2	82.0	89.0	47.0	21.7	5.1	3.7	2.3	2.7	3.1	4.1	20.0	46.2	89.8	82.6	13.3
40～49	431	22.0	89.6	94.7	64.3	37.8	8.8	7.2	7.0	7.9	8.4	9.3	33.9	62.4	94.2	89.1	23.2
50～59	462	20.6	91.6	95.0	79.0	55.6	23.6	17.7	15.8	16.5	16.7	22.7	53.5	77.9	93.7	91.1	18.8
60～69	451	13.5	91.8	92.5	80.9	61.6	37.7	29.3	26.6	25.1	27.1	38.6	62.1	79.2	93.3	91.4	13.1
70～79	363	10.7	90.1	94.8	86.8	78.2	59.5	47.1	45.5	46.6	49.6	56.2	79.3	86.5	92.3	89.3	8.5
80～	120	9.2	95.0	98.3	95.0	89.2	70.8	65.8	68.3	69.2	66.7	72.5	92.5	97.5	99.2	95.0	8.3
総数	2,724	15.3	85.3	90.8	64.9	45.6	24.0	19.3	18.1	18.4	19.2	23.6	44.7	64.4	90.6	85.1	14.6



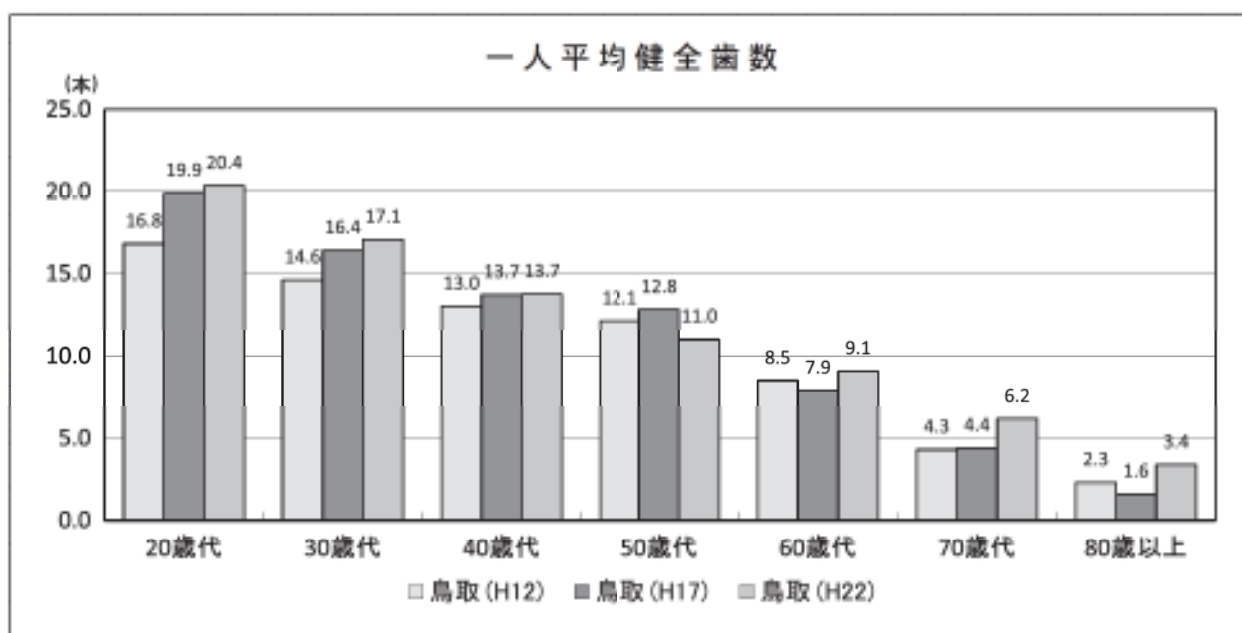
※DMF歯：D（う蝕歯）、M（喪失歯）、F（処置歯）

### (3) 健全歯の状況

#### ○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

健全歯数は20歳代から80歳以上まで年齢とともに徐々に少なくなっている。

過去調査に比べ50歳代では減少が認められるが、その他の年代では増加傾向にある。

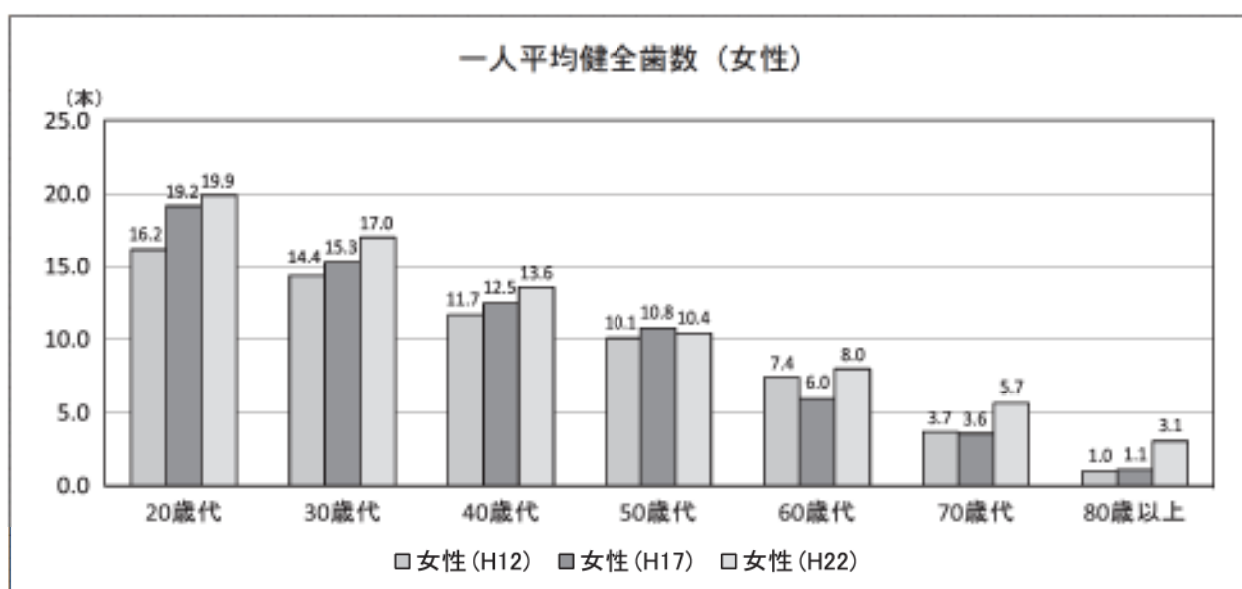
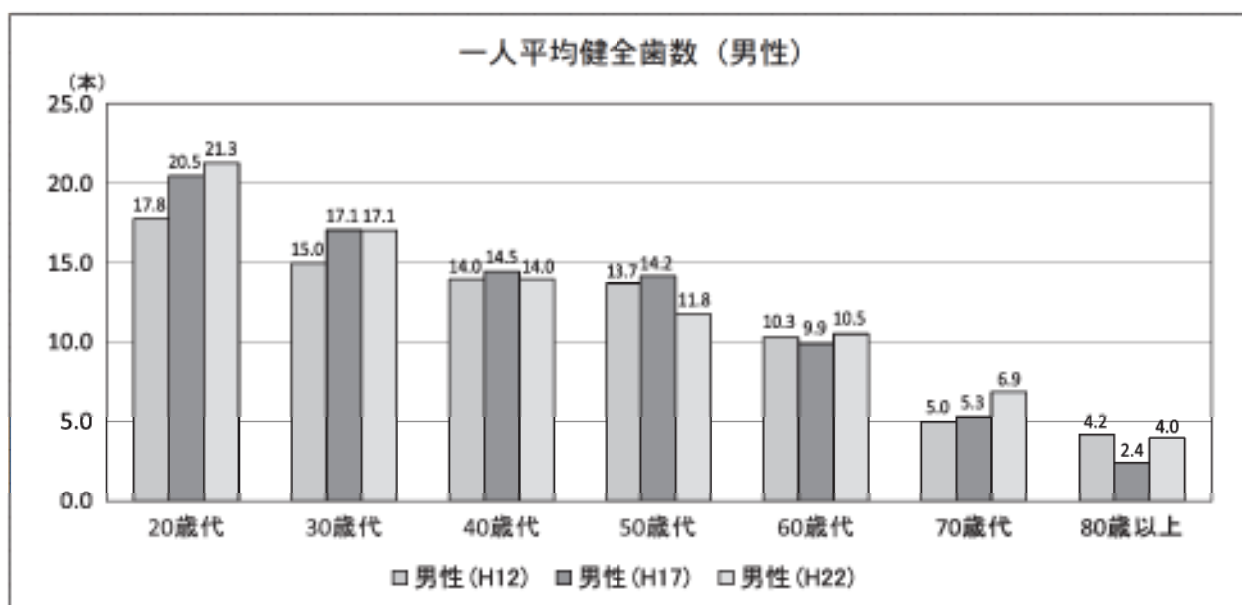


(単位: 本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	16.8	14.6	13.0	12.1	8.5	4.3	2.3
鳥取 (H17)	19.9	16.4	13.7	12.8	7.9	4.4	1.6
鳥取 (H22)	20.4	17.1	13.7	11.0	9.1	6.2	3.4

○性別での比較

すべての年代において男性の方が多い。



(単位：本)

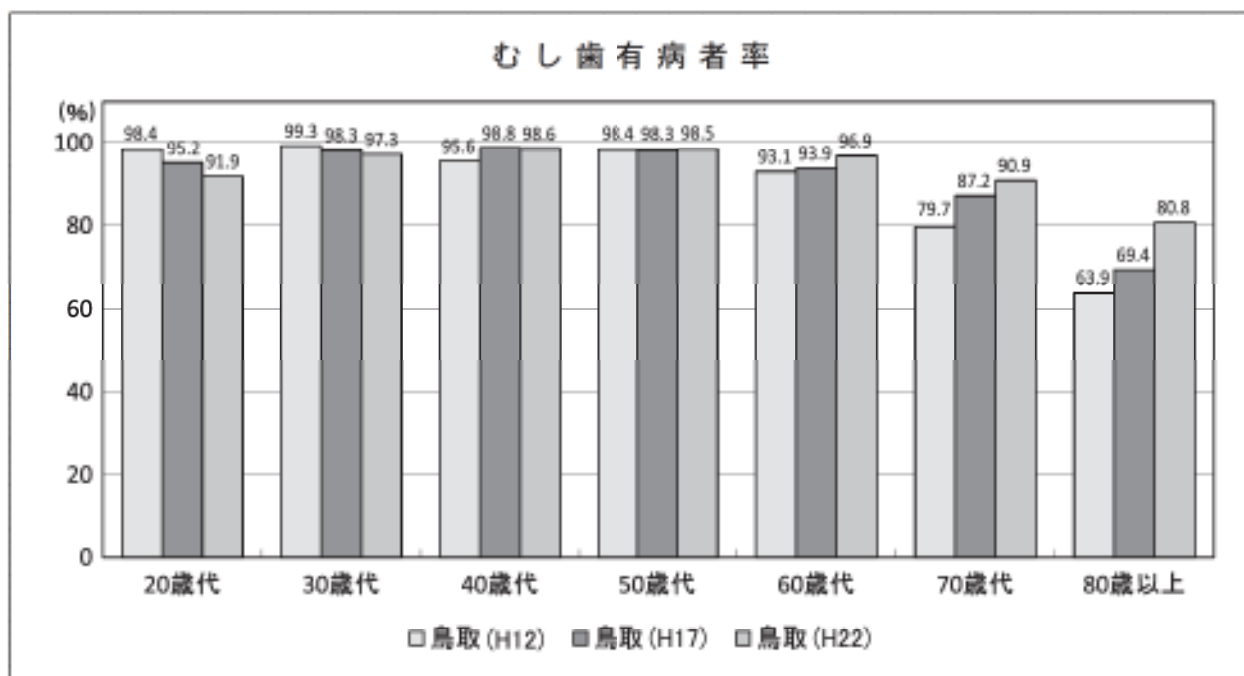
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12)	17.8	15.0	14.0	13.7	10.3	5.0	4.2
男性 (H17)	20.5	17.1	14.5	14.2	9.9	5.3	2.4
男性 (H22)	21.3	17.1	14.0	11.8	10.5	6.9	4.0
女性 (H12)	16.2	14.4	11.7	10.1	7.4	3.7	1.0
女性 (H17)	19.2	15.3	12.5	10.8	6.0	3.6	1.1
女性 (H22)	19.9	17.0	13.6	10.4	8.0	5.7	3.1



#### (4) むし歯の状況

##### ○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

むし歯に罹っている者の割合は、50歳代まで徐々に増加し、60歳代以上で急激に減少している。過去調査と比べると20歳代、30歳代において減少傾向にあるが40歳代より増加傾向である。特に70歳代以上で顕著に80歳以上では80.8%で前回調査より11.4ポイント高い率を示している。

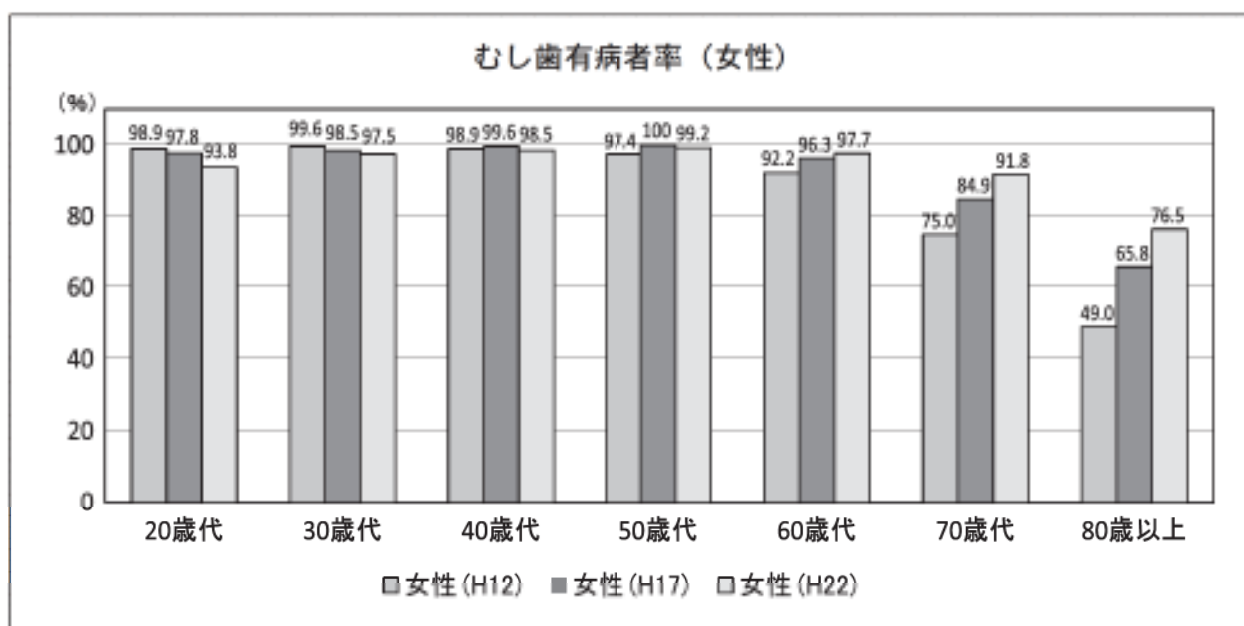
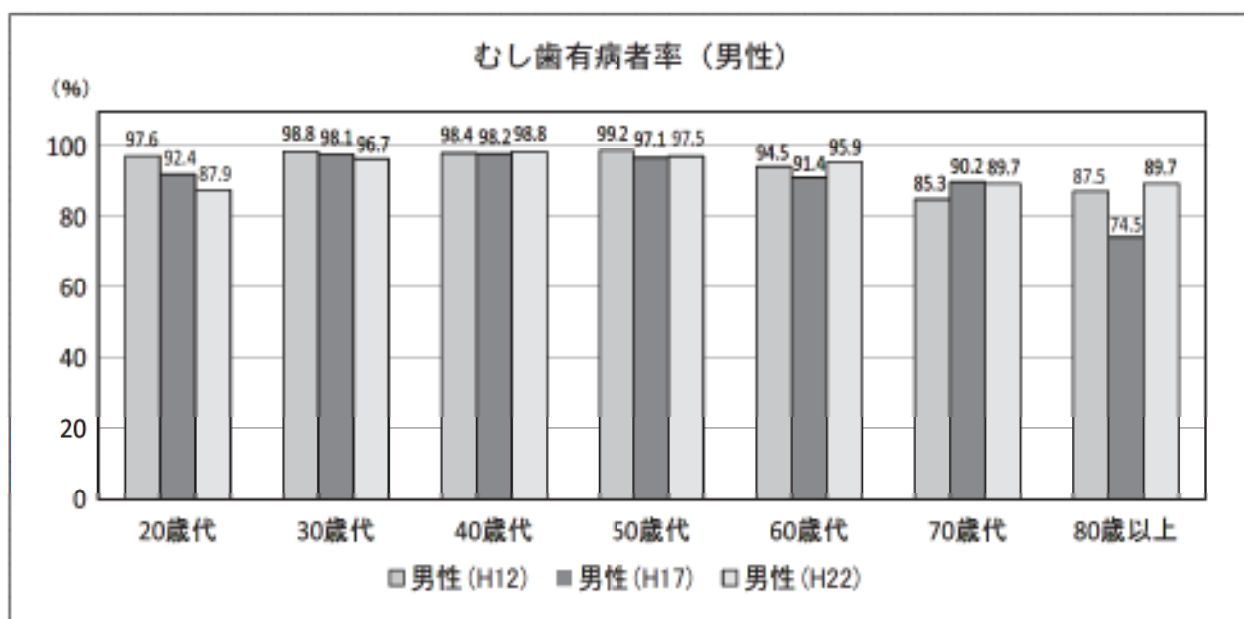


(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	98.4	99.3	95.6	98.4	93.1	79.7	63.9
鳥取 (H17)	95.2	98.3	98.8	98.3	93.9	87.2	69.4
鳥取 (H22)	91.9	97.3	98.6	98.5	96.9	90.9	80.8
全国 (H17)	94.4	99.4	99.6	98.2	94.1	78.5	60.7

○性別での比較

80歳以上を除くすべての年代で女性の方が男性よりむし歯が多い。



むし歯有病者率（男女別）

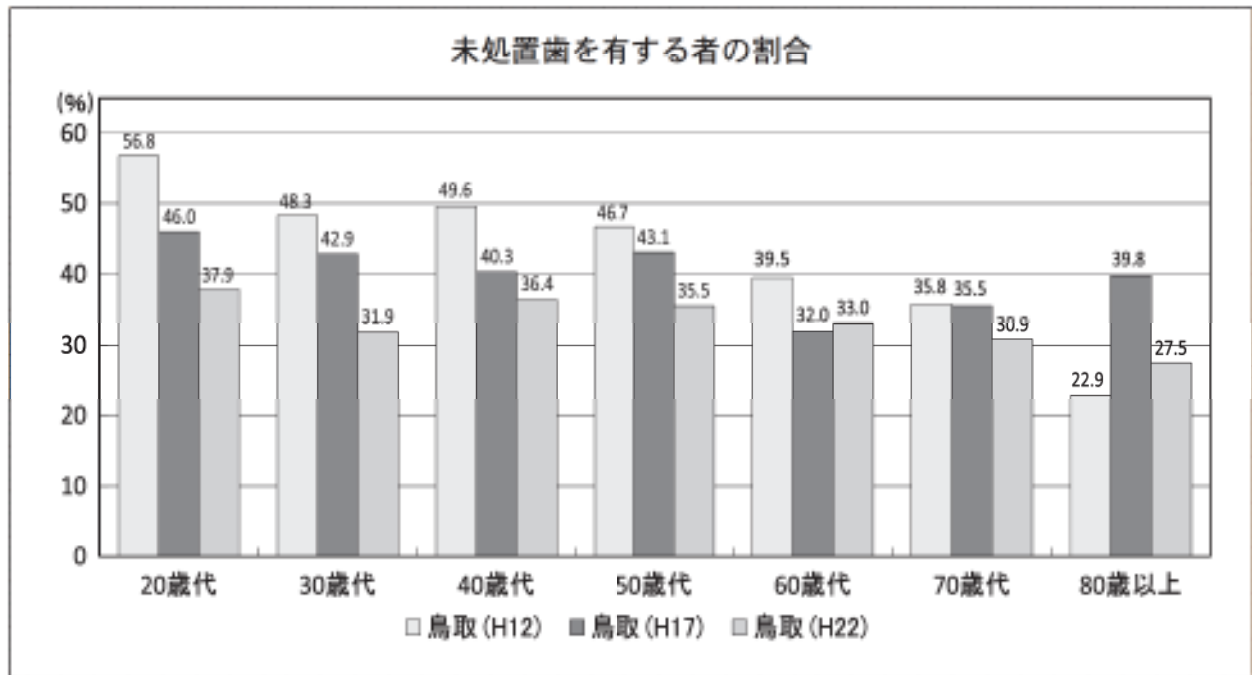
（単位：％）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12)	97.6	98.8	98.4	99.2	94.5	85.3	87.5
男性 (H17)	92.4	98.1	98.2	97.1	91.4	90.2	74.5
男性 (H22)	87.9	96.7	98.8	97.5	95.9	89.7	89.7
女性 (H12)	98.9	99.6	98.9	97.4	92.2	75.0	49.0
女性 (H17)	97.8	98.5	99.6	100	96.3	84.9	65.8
女性 (H22)	93.8	97.5	98.5	99.2	97.7	91.8	76.5

(5) 未処置歯の状況

○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

未処置歯を有する者の割合は、20歳代から80歳以上まで年齢とともに除々に少なくなっている。前回調査に比べ60歳代を除くすべての年代で減少している。若い年代ほど顕著である。

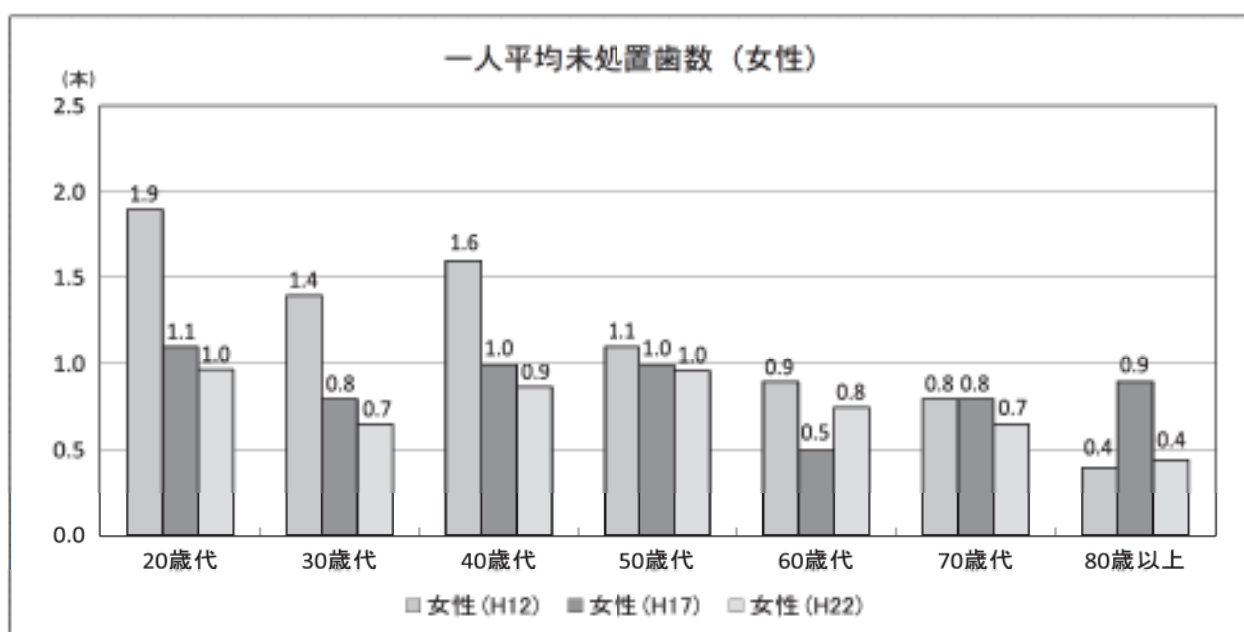
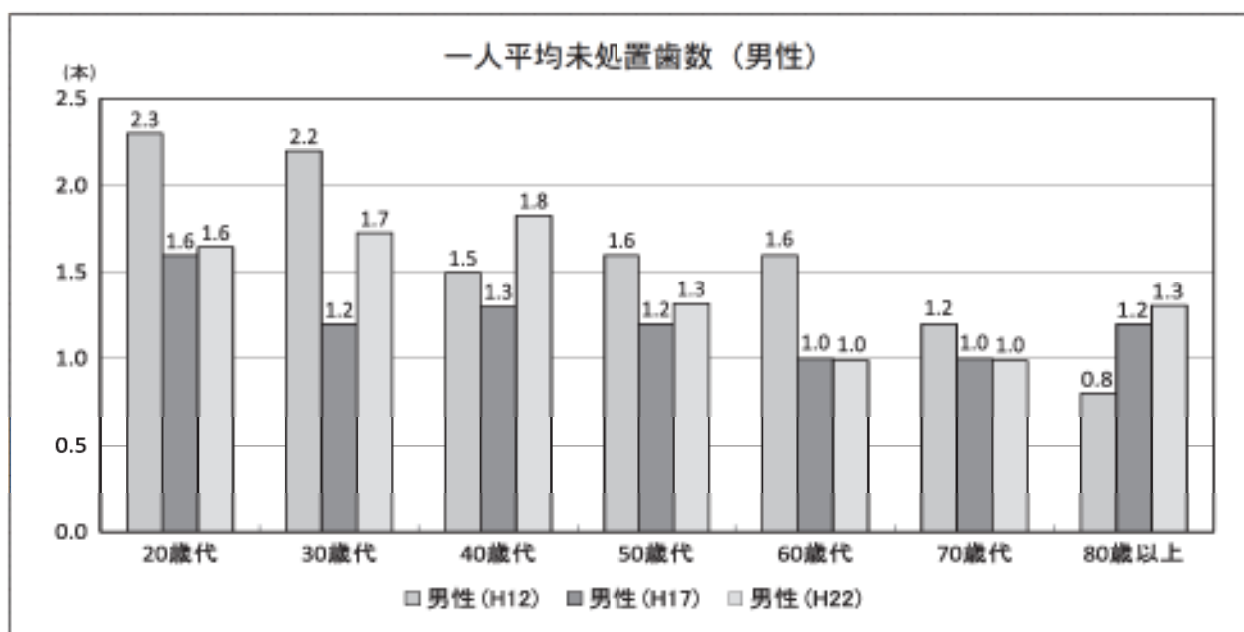


(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	56.8	48.3	49.6	46.7	39.5	35.8	22.9
鳥取 (H17)	46.0	42.9	40.3	43.1	32.0	35.5	39.8
鳥取 (H22)	37.9	31.9	36.4	35.5	33.0	30.9	27.5
全国 (H17)	43.7	46.3	38.9	37.2	37.6	34.2	28.7

○性別での比較

全ての年代において男性の方が女性より多い。



一人平均未処置歯数（男女別）

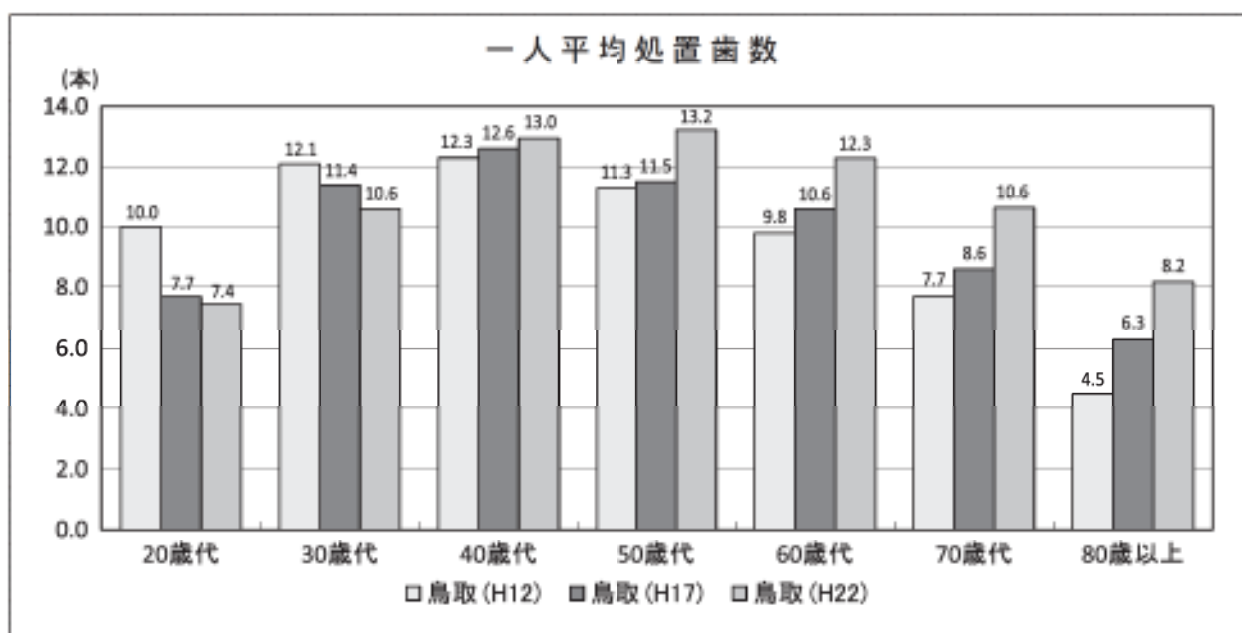
（単位：本）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12)	2.3	2.2	1.5	1.6	1.6	1.2	0.8
男性 (H17)	1.6	1.2	1.3	1.2	1.0	1.0	1.2
男性 (H22)	1.6	1.7	1.8	1.3	1.0	1.0	1.3
女性 (H12)	1.9	1.4	1.6	1.1	0.9	0.8	0.4
女性 (H17)	1.1	0.8	1.0	1.0	0.5	0.8	0.9
女性 (H22)	1.0	0.7	0.9	1.0	0.8	0.7	0.4

## (6) 処置歯の状況

### ○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

一人平均処置歯数は20歳代から50歳代まで徐々に増加し、60歳代以上では徐々に減少している。  
過去調査に比べて20歳代、30歳代で減少傾向にあり、40歳代より増加傾向にある。

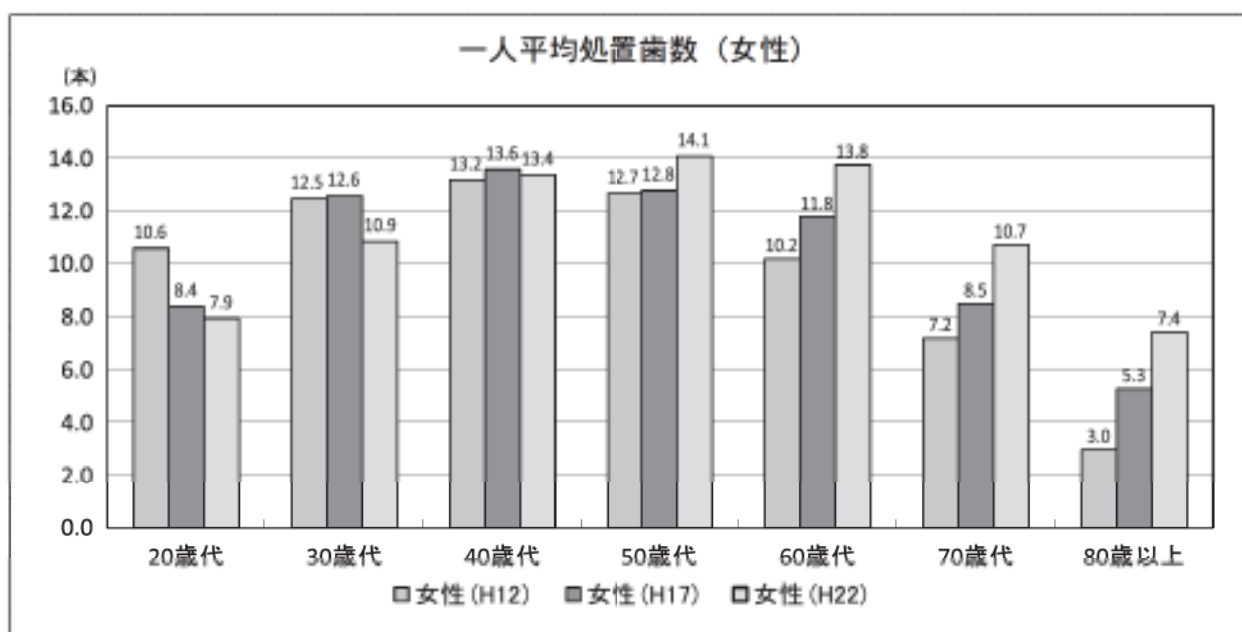
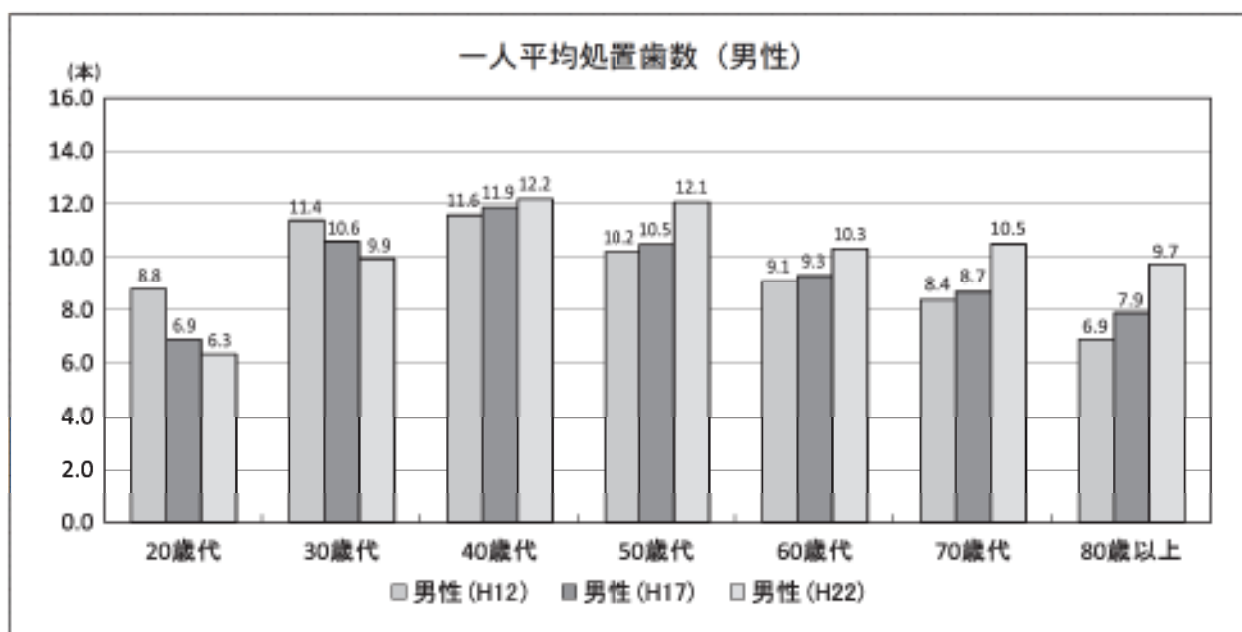


(単位: 本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	10.0	12.1	12.3	11.3	9.8	7.7	4.5
鳥取 (H17)	7.7	11.4	12.6	11.5	10.6	8.6	6.3
鳥取 (H22)	7.4	10.6	13.0	13.2	12.3	10.6	8.2
全国 (H17)	7.4	11.3	13.0	11.3	9.7	7.3	4.6

○性別での比較

80歳以上を除くすべての年代において、女性の方が多い。



一人平均処置歯数（男女別）

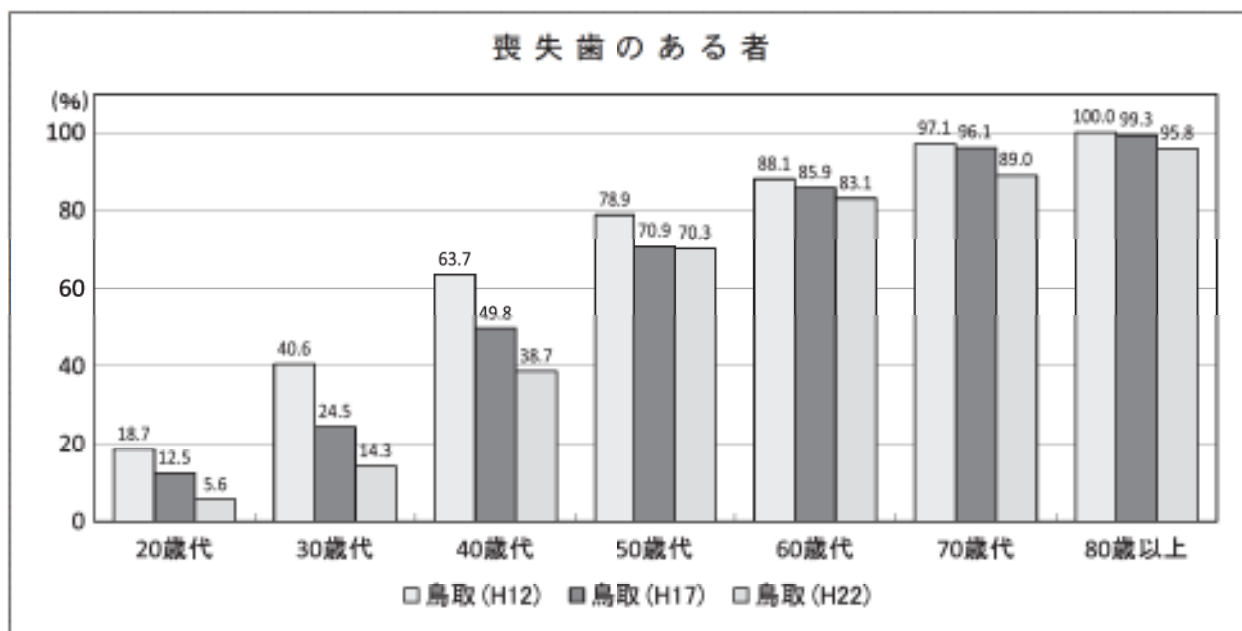
（単位：本）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12)	8.8	11.4	11.6	10.2	9.1	8.4	6.9
男性 (H17)	6.9	10.6	11.9	10.5	9.3	8.7	7.9
男性 (H22)	6.3	9.9	12.2	12.1	10.3	10.5	9.7
女性 (H12)	10.6	12.5	13.2	12.7	10.2	7.2	3.0
女性 (H17)	8.4	12.6	13.6	12.8	11.8	8.5	5.3
女性 (H22)	7.9	10.9	13.4	14.1	13.8	10.7	7.4

## (7) 喪失歯の状況

### ○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

喪失歯のある者の割合は、20歳代5.6%、30歳代14.3%と少ないが、40歳代から急激に増加して80歳以上では95.8%となる。過去調査に比べてすべての年代において減少傾向にある。特に20歳代から40歳代では顕著である。一人平均喪失歯数は、40歳代までは1.0本以下だが、50歳代で3.0本以上になり、急激に増加している。

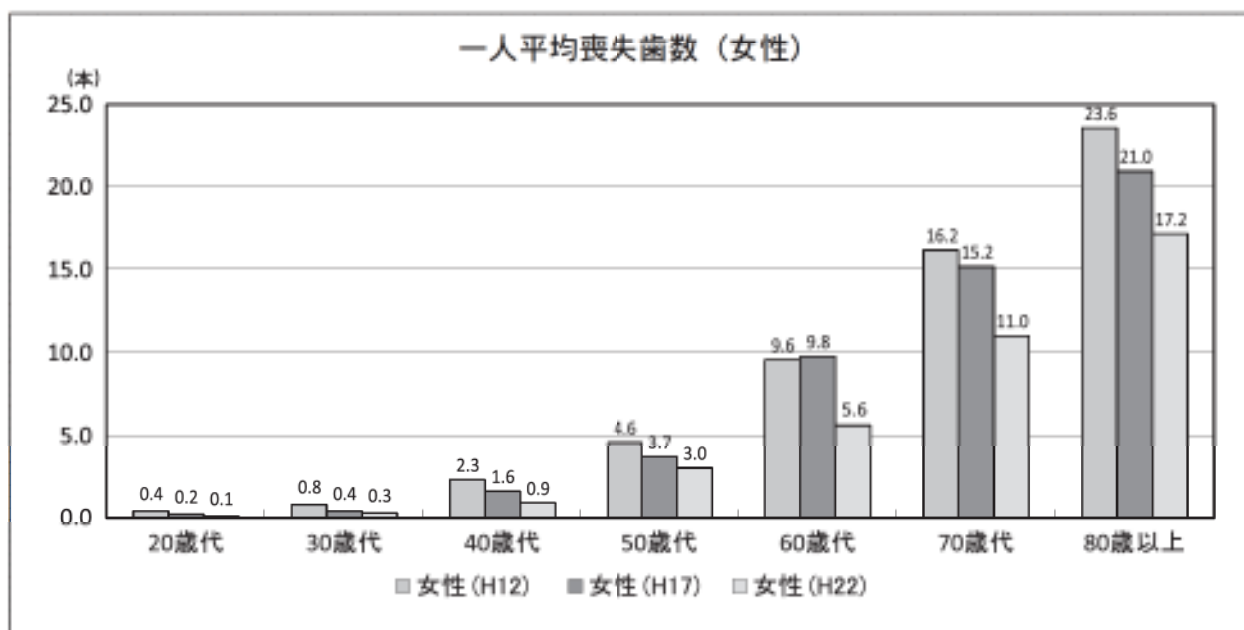
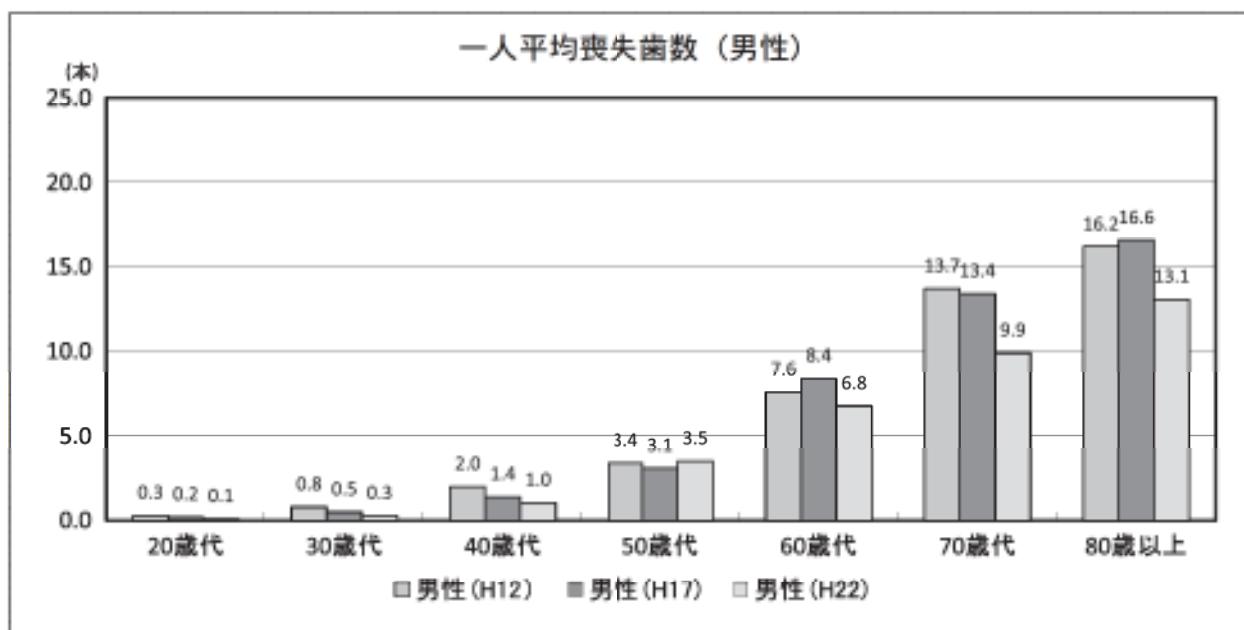


(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取(H12)	18.7	40.6	63.7	78.9	88.1	97.1	100.0
鳥取(H17)	12.5	24.5	49.8	70.9	85.9	96.1	99.3
鳥取(H22)	5.6	14.3	38.7	70.3	83.1	89.0	95.8

## ○性別での比較

すべての年代において男性より女性の方が喪失歯が多い傾向があり、特に70歳代以上、その差が顕著になってくる。



一人平均喪失歯数（男女別）

（単位：本）

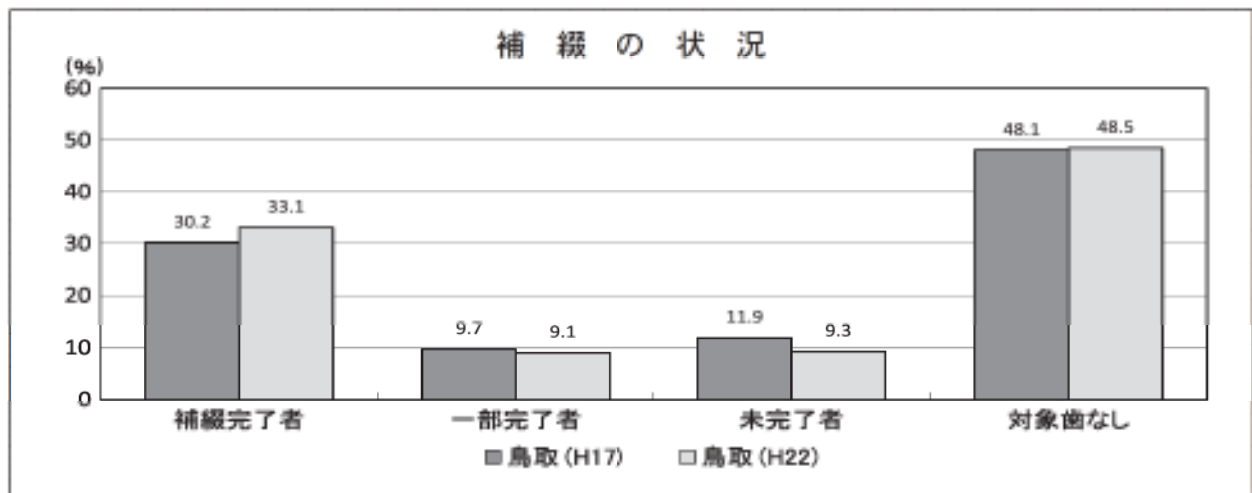
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12)	0.3	0.8	2.0	3.4	7.6	13.7	16.2
男性 (H17)	0.2	0.5	1.4	3.1	8.4	13.4	16.6
男性 (H22)	0.1	0.3	1.0	3.5	6.8	9.9	13.1
女性 (H12)	0.4	0.8	2.3	4.6	9.6	16.2	23.6
女性 (H17)	0.2	0.4	1.6	3.7	9.8	15.2	21.0
女性 (H22)	0.1	0.3	0.9	3.0	5.6	11.0	17.2



## (8) 補綴の状況

### ○前回調査（平成17年度）との比較

補綴が必要とされる者は全体の51.5%である。補綴が完了している者は全体の33.1%である、前回調査に比べて2.9ポイント増加している。



補綴の状況

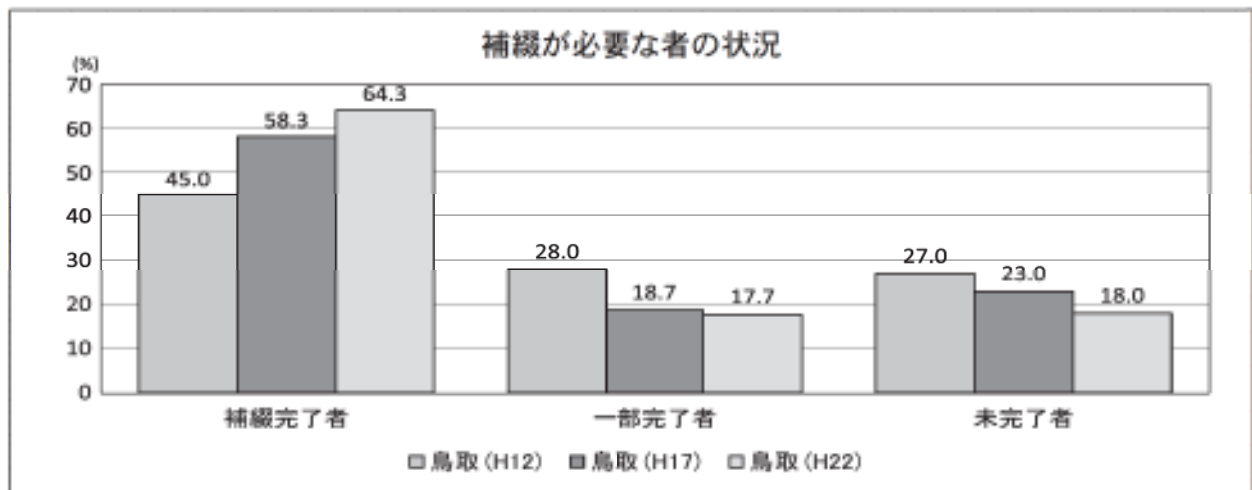
(単位：%)

	補綴完了者	一部完了者	未完了者	対象歯なし
鳥取 (H17)	30.2	9.7	11.9	48.1
鳥取 (H22)	33.1	9.1	9.3	48.5

補綴完了者+一部完了者+未完了者+対象歯なしを100として算出

### ○補綴が必要な者の状況（平成12年度・平成17年度との比較）

補綴が必要な者のうち補綴完了者は64.3%であり、過去調査に比べて増加傾向にある。



補綴の必要な者の状況

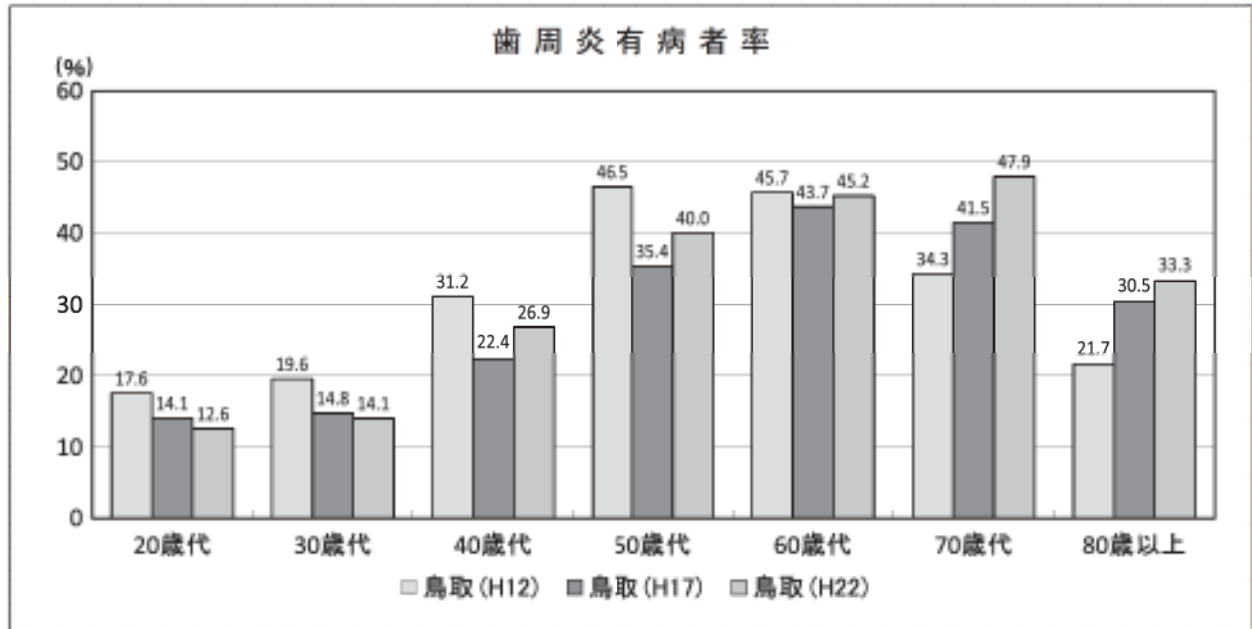
	補綴完了者	一部完了者	未完了者
鳥取 (H12)	45.0	28.0	27.0
鳥取 (H17)	58.3	18.7	23.0
鳥取 (H22)	64.3	17.7	18.0

補綴完了者+一部完了者+未完了者を100として算出

(9) 歯周病の状況

○過去調査（平成12年度、平成17年度）との比較

歯周炎に罹っている者の割合は、20歳代、30歳代で少なく、40歳代以上で多くなり、60歳代、70歳代で最大を示し80歳以上で少なくなる。過去調査に比べ20歳代、30歳代は減少傾向であるが、過去調査で減少傾向にあった40歳代から60歳代を含めて40歳代以上の年代で増加している。



歯周炎有病者率の割合

(単位: %)

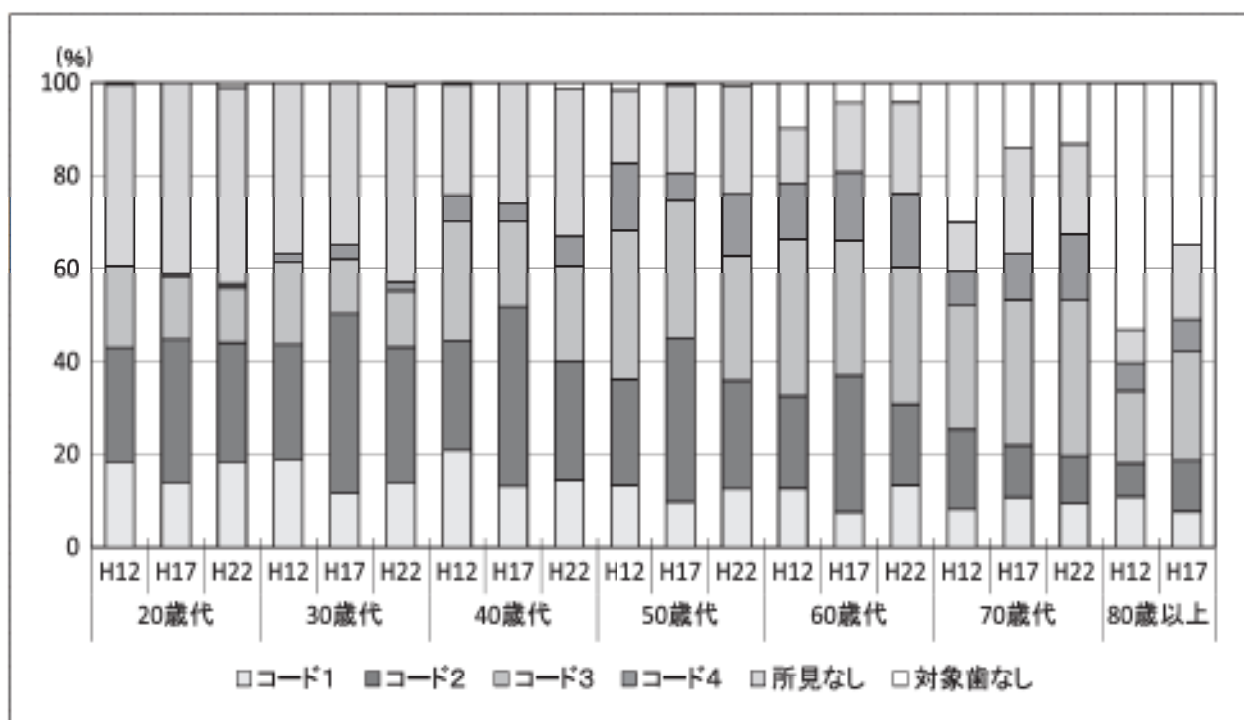
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H12)	17.6	19.6	31.2	46.5	45.7	34.3	21.7
鳥取 (H17)	14.1	14.8	22.4	35.4	43.7	41.5	30.5
鳥取 (H22)	12.6	14.1	26.9	40.0	45.2	47.9	33.3
全国 (H17)	14.0	23.8	35.8	45.0	50.2	45.0	27.8

注) 歯周炎有病者率とは、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

○歯肉の所見の有無

・過去調査（平成12年度・平成17年度）との比較

コード1の者は20歳代の若い年代ほど多く以後年代を増すに従って徐々に少なくなっている。コード2の者（歯石の沈着）は60歳代までに多く、70歳代、80歳以上で徐々に少なくなっている。コード3以上の者（歯周炎）は20歳代、30歳代は少ないが、40歳代から急激に多くなり、80歳以上でまた少なくなっている。コード4の者は20歳代、30歳代では非常に少なく、40歳代から増加し始め60歳代で最大となり、80歳以上で少なくなる。



(単位：%)

	所見のあるもの															所見なし			対象歯なし		
	総数			コード1			コード2			コード3			コード4								
	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H12	H17	H22
20歳代	60.6	58.9	56.7	18.3	13.9	18.3	24.7	30.9	25.8	17.6	13.5	11.8	-	0.6	0.8	39.0	41.1	42.2	0.5	0.0	1.1
30歳代	63.3	65.1	57.1	18.9	11.6	13.9	24.8	38.7	29.2	17.8	11.8	12.1	1.8	3.1	2.0	36.7	34.9	42.1	0.0	0.0	0.8
40歳代	75.6	74.2	67.1	20.8	13.1	14.4	23.7	38.7	25.8	25.8	18.5	20.4	5.4	3.9	6.5	23.9	25.8	31.6	0.5	0.0	1.4
50歳代	82.7	80.5	76.0	13.3	9.7	12.6	22.9	35.4	23.4	32.1	29.7	26.8	14.4	5.7	13.2	15.7	19.0	23.2	1.6	0.5	0.9
60歳代	78.3	80.7	76.1	12.6	7.5	13.3	20.0	29.5	17.5	33.8	29.1	29.5	11.9	14.6	15.7	11.9	15.0	19.7	9.8	4.3	4.2
70歳代	59.6	63.3	67.5	8.1	10.7	9.4	17.2	11.1	10.2	27.0	31.5	33.6	7.3	10.0	14.3	10.5	22.6	19.3	29.9	14.1	13.2
80歳以上	39.8	49.2	49.2	10.8	7.6	8.3	7.2	11.0	7.5	15.7	23.7	23.3	6.0	6.8	10.0	7.2	16.1	17.5	53.0	34.7	33.3

コード0 歯肉に炎症の所見が認められない

コード1 ブローピング後に出血が認められる

コード2 歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのブローピングによる検出を含む）

コード3 ポケットの深さが4mm以上6mm未満

コード4 ポケットの深さが6mm以上